



創刊々々むけ十



夏号

2014 vol.001

発行 いくのさん家
住所 鳥取市湖山町西
2丁目 237-2
TEL 0857-37-3727
印刷 Studio-E

公式ツイッター

@ikunosange



日々の仕事の中で、「介護ってなんだろう?」と思う前に「どう生きたいか、逝きたいか」を考えさせられます。いろいろな介護事業所で、「二人ひとりの尊厳と自立を大切に・・・」というくだりの理念は、あちこち書かれています。確かに自分がお世話になる時に、自分個人を大切にしてほしい。できることは自由にやらせてほしい。でも「生きている」限り、当たり前のこと。あえてうたう必要なんてあるのか?とひねくれた自分は感じます。

また、いくら誰にも世話になりたくないと思つていても、人生50年といわれた時代はとくに過ぎ去り、今や人生100年に及ぶ勢いで、誰かにお世話にならずに生きていくことはできないと感じています。故にそんな簡単に受け止められない矛盾を抱えるのでしょう。夜勤をしていると、眠れないご利用者とお話することがあります。「もうなんもできんようになつた」「歳ももうこんな大きくなつた。もうええわ」と涙を浮かべながらお話されることがあります。また、よかれとお手伝いしたら怒られたり、なかなか意思の疎通ができなくてやるせない気持ちになることもあるでしょう。そんなエピソードが、なんとなく「介護」につ

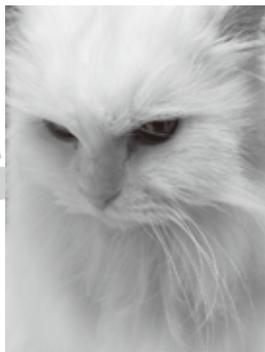
いて、暗い・つらいイメージをつくっているかもしれない。

でも、実際に現場ではなんとも微笑ましい出来事や笑い・ある時は真剣にもめたり、と喜怒哀楽満載!小さなやりとりの中で、その人その人のこだわりや人となりを感じ、普通の生活で起こりうるふれあいがあるのです。そのふれあいから、その人らしく、自然に暮らしていくヒントがあふれています。

身近に家族や縁者・ご近所など、ほんの少し、お手伝いの必要な人はいませんか?今回、この季刊誌を創刊するにあたり、介護現場のありのままの姿を通し、「その人らしさ」を貫くためにほんの少しのことができること、そのため、どう支え合つていけばよいのか?を、一緒に感じ考えていただければ、幸いです。

(広報委員 児嶋江麻)

みやこちゃん



キューちゃん

大郷
いくのさん家

小規模多機能型居宅介護
大郷いくのさん家

鳥取市松原 112 番地 1
TEL 54-6161 (FAX 兼)

もうすぐ完成!! 吉岡温泉に「お出かけ基地」準備中♪
乞うご期待。



小規模多機能型居宅介護 グループホーム
いくのさん家 いくのさん家

鳥取市湖山町西 2 丁目 237 番地 2
TEL 37-3727 FAX 37-3728

無添加の美味しい梅干し作りました!! コトリ舎「野菜市」
でご購入いただけます。



コラム



看取りのカタチ

〇さん、逝く〜

「マイ・ウェイ」―余命いくばくもない男がこれまでの人生を振り返る歌である。シナトラの哀愁ある歌声が妙に切なく胸に沁み入る。そして、この歌を聴くたびに私は〇さんのことを思い出す。

いくのさん家で働き、初めて怒鳴られたのが〇さんだった。初めて名前で呼んでくれたのも〇さんだった。入浴時、胸ポケットに入っていた煙草を取り上げ「これも洗っておきますね。」そう言うと、顔をクシャッとさせて「アホ言うな。」そんなやりとりが好きだった。いつも横になって過ごしていた。枕をよだれでグッシヨリ濡らした。ゆるゆるのズボンを両手で掴んで歩くので、手にした杖に意味はなかった。

すてきな

ツーさん

作:ボリビッチ
画:ボリキール



いつも尿臭を漂わせ、来るとそのまま風呂場へ通した。男性も女性も上も下も関係なく、「お茶!」と大きな声を張り上げた。誰に対しても公平だった。というより自分のことしか興味がなかった。そして...こよなく、こよなく煙草を愛した人だった。

「命をとるか、煙草をとるか」と医師に問われ、間髪いれずに「煙草」と答える。それが〇さんの生き方だった。煙草を吸うこと、1日二つの饅頭を食べること、週に一度喫茶店へ通うこと。この3つが〇さんのこだわりだった。そのため、どうしても在宅で暮らすことが必要だった。理由は簡単。在

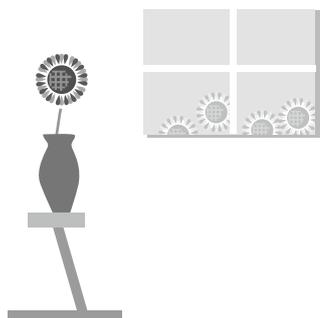
宅でなければ煙草が吸えない。煙草を吸うがための在宅支援...なんのこっちゃわからない。けれどもみんな支えた。成年後見人、医師、ケアマネジャー、介護士...〇さんのこだわりをみんなが支えた。



2014年2月、〇さんはコロナと逝った。急性心筋梗塞が原因だった。最期の最期まで自分のこだわりを通して生きた。そうして「あはよ」とも言わずにふらりとあの世へ旅立った。私はずっと〇さんの生き方を心底かっこいいと思っていたんだ。愛すべきもの、それは人間の持つわがままや、どうしようもないこだわりや、愚にもつかない執着だ。生きる価値はそれだけだ。こんなわがままな生

き方がまだまだあって、どうしようもないこだわりを支援する社会がほんの少しでもあるのなら、生きていくのも老いていくのも悪くはない。そう、私は〇さんから生き方を教わった。(ただ一つ心残りがある。棺桶に入った〇さんの口に煙草をくわえさせてあげられなかったことである。できれば辛気臭い練香も煙草に替えて部屋中煙で包みたかった。もしも煙草をくゆらせ、喫茶店へ共に通うそんな友人知人があったなら、きっとそうしてやっただけに違いない。私にはそれをする勇気がなかった。)

シナトラは静かに言葉をおきながら「マイ・ウェイ」のラストをこう結ぶ。「Yes, it was my way」―そう、私の人生に悔いはない。きっと〇さんもそうだったに違いない(と思いたい)。お世辞にもこんなセリフが似合うほどかっこよくはなかったけれど。天国...には行けてないと思うから地面に向かって言っとくよ。〇さん、ありがと。そして、あの世でも絶対禁煙なんかしないでね!



いくのさん家

居宅介護支援事業所

鳥取市吉方温泉1丁目252番地1
TEL 30-7881 FAX 30-7882

介護ワンストップ相談。介護のことなら何でもご相談ください。



デイサービス

吉方温泉いくのさん家

鳥取市吉方温泉1丁目406番地
TEL 30-6565 (FAX 兼)

7/22より上記の新住所に移転しました。今後ともよろしくお願いたします。

なやた 那由他の人たち

松嶋さん

元いくのさん家看護師

お骨か位牌かかって思ったんだけど、まさかそんなの持ち歩けないじゃない？だからこれ。母がね88歳の時に作ったの。101歳まで長生きしたのよ。

産んでくれた母は私が10歳の時に亡くなりました。うんと優しくかった。亡くなる前にね、私、3姉妹なんだけど、それぞれの性格をきちんと書いて残してね。次に母親になる人があなたたちのことちゃんとわかるように。残された父は本当に照れ症だったから、結局その後、亡くなった母の姉と一緒にあったの。おキヤンな人でねえ。スキーやソリやらやるような人。101歳まで生きるわけよ。

本当は農学校に行きたかったの。でも看護学校なら奨学金が出るから仕方なく。病院に勤めてからも失敗ばかりよ。理念ってのがあってしょう？えっ？リネン？布のことですか？って。ああいうの、合わなくてね。こっそり消毒器使ってたが辛ゆで、内緒だよって患者さんに配ったり、



「痛い」っていう患者さんに「ああ、痛いですか？」ってそっけなく答えたら、履いた革のスリッパでバカーンってやられて歯が折れたこともあったわね。病院、楽しかったあ。患者さんにバカ、アホってね。そう言われている方が面白いじゃない？

病院を退職してから、縁あっていくのさん家で働いて。介護している家族の方と思う存分話ができただわ。お母さんの右手を息子さん、左手を私が握ってたね、そのままお茶しながら世間話を交わしたり、家族会ではみんなビールを飲んだり。こう見えて私飲めないの。だからね、その時はノンアルコール。

母が亡くなって家の整理をしないといけなくなって。だからこの仕事も今日でお願い。家の片付けに専念するわ。でもね、全然実感が湧かないの。なんだか明日も出てきそう。流腸や排便が必要な時にはいつでも呼んでね。目医者への帰りに寄ってあげるわ。

※那由他(なやた)：元仏教用語で「極めて大きな数量」サンスクリット語「無限」の意味。無限大に近い数字で、宇宙とか星とか、そういう届きそうで届かない壮大な雰囲気がありますか？それなのに響きは優しい感じ。そんな「那由他」な人たちとこれからもつながっていききたいなあって思うのです。



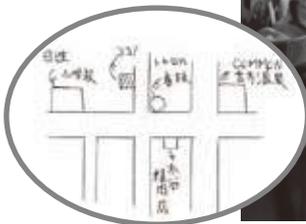
喫茶「SHOW」

デイサービス吉方温泉いくのさん家の近くにある喫茶「SHOW」。利用者さんと散歩をしていた時に発見しました。名前の由来はお店の小ささと羽ばたく「翔」をか

けたとか。お店を構えて30年。知る人ぞ知る吉方温泉の老舗です。名物のカレーは500円。「デイサービスになにかあったら届けてね。」そんな約束も交わしていたり。笑顔の素敵なお母さんと優しい息子さんが迎えてくれます。少し横道に入ったところにあるので、初めは見つけにくいかもしれませんが。道に迷ったらデイサービス吉方温泉いくのさん家まで連絡を。利用者さんと一緒に案内しまーす！



※巳巳己己(いこみき)：四字熟語「互いに似ているもの」とえ「文字もよく似ていて、見分けがつかないでしよ。」



編集後記

微力ながらお手伝いさせていただいた「いくのさん家の玉子焼き」創刊が無事に完成してとても嬉しく思っています。皆さん、いかがでしたか？

次号は、秋の号として、吉方温泉にあるサロン「Common 吉方」と、吉岡温泉にもうすぐ完成する「お出かけ基地」の魅力について、オモシロく紹介していきますのでご期待ください!!

また、お読みいただいたご意見・ご感想、今後取り上げてほしい記事等ございましたら是非お聞かせください。

コトリ舎

特定非営利活動法人
コトリ舎

鳥取市吉方温泉 1丁目 252番地 1
TEL 30-6565 (FAX 兼)

野菜市・サロン・まちなか支え隊・等、
気軽に話せる地域のお茶の間です。

グループリビング
かなで

グループリビング
かなで
鳥取市行徳 3丁目 734番地
TEL 21-7555 (FAX 兼)

毎月第2(土) ミニイベントを開催。老若男女を問わず楽しんでいただけます。